

SPU10の学士力

◆カリキュラム2019 学部DP

1. 保健医療福祉の分野において重要である、対象者の多角的な理解ができるとともに、高い倫理観を備えていること。
2. 日常の社会生活において、客観的かつ批判的な思考(critical thinking)を身に付けていること。
3. 場面に応じた適切な判断力や、多面的な視点からの課題へのアプローチ等、様々な課題に対応することのできる専門的かつ総合的な視点を備えていること。
4. 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携することができ、ライフステージに応じた人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること。
5. 国際的な視野をもちながら、地域における保健医療福祉の諸問題への持続的な取り組みができること。

◆学部DPに関連したSPU10の学士力

1. 多角的理解力: 対象者を多角的に理解する力
2. 倫理観: 他者の意思を尊重しながら最善を考えて行動する力
3. 問題発見力: 日常の社会生活の中から問題を発見する力
4. 思考力: 情報や知見に基づき客観的かつ批判的に思考する力
5. 専門能力: 専門知識と技術を修得して実践する力
6. 課題解決力: 適切に判断し課題を解決する力
7. コミュニケーション力: 多様な人々と交流する力
8. 連携力: 分野を超えて連携し人々の健康や生活を統合的に支える力
9. グローバル・エンゲージメント: グローバルな問題を身近な課題として考える力
10. ローカル・エンゲージメント: 地域の保健医療福祉の諸問題に持続的に取り組む力

教育目標

【豊かな人間性】人間が存在することの意義を理解し、その尊厳と基本的人権の尊重に基づき活動できる豊かな人間性と高い倫理観をもつこと。

【創造力に富む知性】様々な現象を科学的、客観的に捉え、批判的な思考(critical thinking)に基づいて主体的かつ創造的に探究する知性をもつこと。

【高い専門性と連携力】社会の信頼と要請に応える高い専門的知識と技術を修得しつつ、幅広い学問領域の知識や技術を活かしながら多様な人々と連携できる専門性をもつこと。

【国際性と地域性に基づく協働力】保健医療福祉に関わる現象をグローバルな視点で理解しつつ、地域の人々と協働してその特性に応じた活動ができる能力をもつこと。

学部DP

DP1: 保健医療福祉の分野において重要である、対象者の多角的な理解ができるとともに、高い倫理観を備えていること。

DP2: 日常の社会生活において、客観的かつ批判的な思考(critical thinking)を身に付けていること。

DP3: 場面に応じた適切な判断力や、多面的な視点からの課題へのアプローチ等、様々な課題に対応することのできる専門的かつ総合的な視点を備えていること。

DP4: 多様な人々とコミュニケーションを図りながら連携することができ、ライフステージに応じた人々の健康と生活を統合的に支える活動に取り組めること。

DP5: 国際的な視野をもちながら、地域における保健医療福祉の諸問題への持続的な取り組みができること。

SPU10の学士力

多角的理解力

* 対象者を多角的に理解する力

倫理観

* 他者の意思を尊重しながら最善を考えて行動する力

問題発見力

* 日常の社会生活の中から問題を発見する力

思考力

* 情報や知見に基づき客観的かつ批判的に思考する力

専門能力

* 専門知識と技術を修得して実践する力

課題解決力

* 適切に判断し課題を解決する力

コミュニケーション力

* 多様な人々と交流する力

連携力

* 分野を超えて連携し人々の健康や生活を統合的に支える力

グローバル・エンゲージメント

* グローバルな問題を身近な課題として考える力

ローカル・エンゲージメント

* 地域の保健医療福祉の諸問題に持続的に取り組む力